

学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト

岡山大学「体験せにゃあ大変じゃ」

～ 体験型防災施設における

効果的な防災教育の推進プロジェクト～

中間報告

令和7年10月18日（土）

岡山市消防教育訓練センター 水難救助訓練施設 風水害体験エリア

【2025年5月23日】体験して学べる！風水害体験エリアがオープン！！

[2025年4月24日] ID:65938

風水害体験エリアとは

近年地球の温暖化が進み、その影響で国内でも毎年のように各地で集中豪雨が発生し甚大な被害をもたらしています。

晴れの国「おかやま」と言われてきた岡山県も例外ではなく、2018年に発生した「平成30年7月豪雨災害」は記憶に新しいところです。こうした水害や土砂災害から「命」を守るためには、災害を「他人ごと」ではなく「自分ごと」として捉え、日頃から備えをしておくことが重要です。

2025年5月23日にオープンする当エリアは、住民が模擬体験を通して水災害から身を守ることが学べる、全国でも珍しい風水害に特化した体験型の学習施設です。

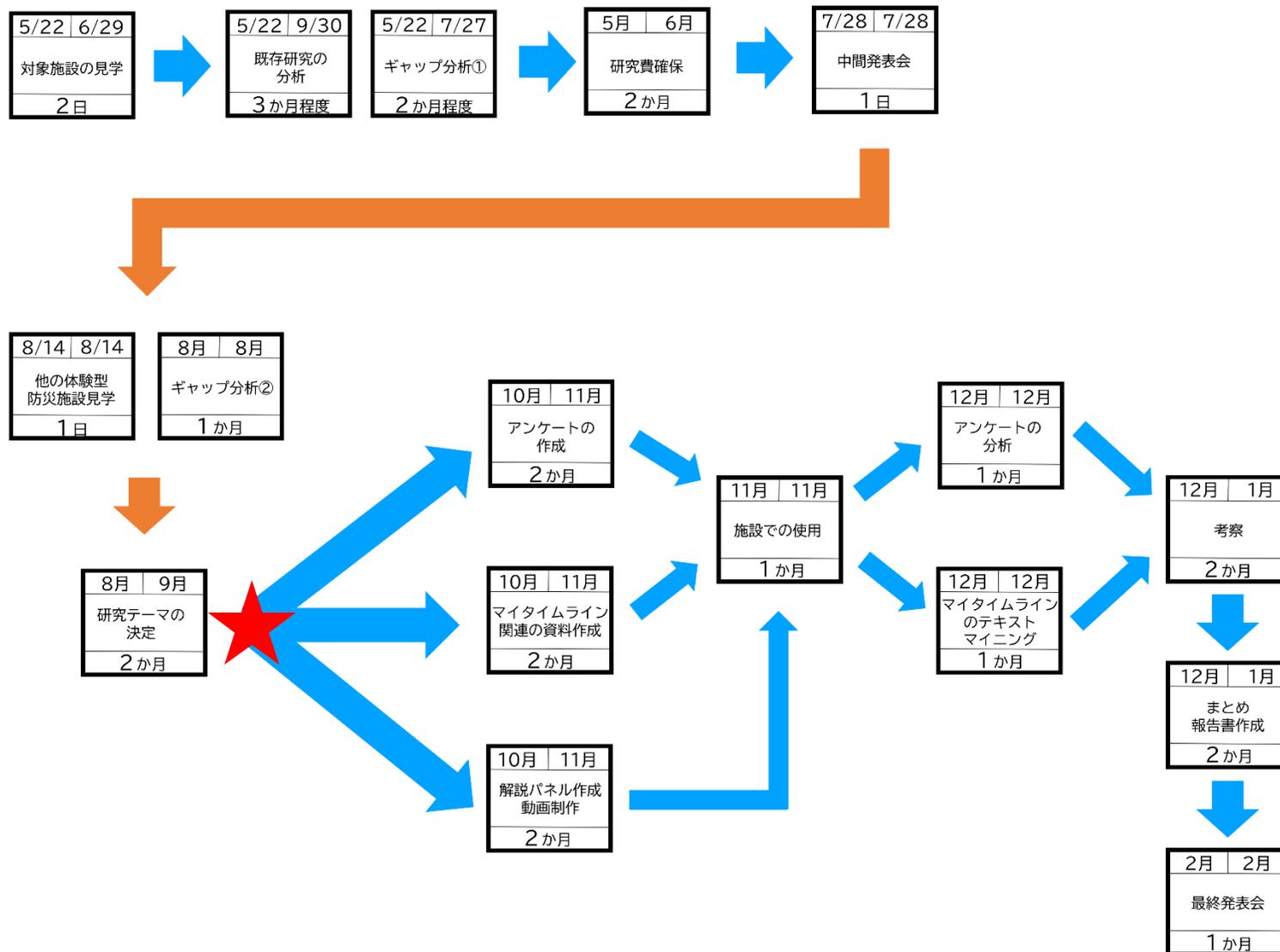
※当エリアは、同年4月にオープンする岡山市消防教育訓練センター水難救助訓練施設内にあります。



この記事を見ている人はこんな記事も見ています

- 2025年4月 岡山市消防教育訓練センター 水難救助訓練施設運用開始！！
- 体験して学べる！風水害体験エリアがオープン！
- 2025年4月 「岡山市消防教育訓練センター」は「岡山市消防教育訓練センター 総合訓練施設」に改名しました。
- 岡山市南消防署について







ビデオ視聴によるミニ講義

流水歩行体験



水圧自動車ドア体験



水圧ドア体験

風雨体験



マイタイムライン作成
ふりかえり



体験時間 1時間30分

※体験パートの順番はグループによって異なる

体験を通して感覚的に
災害に対する危険性を理解できる

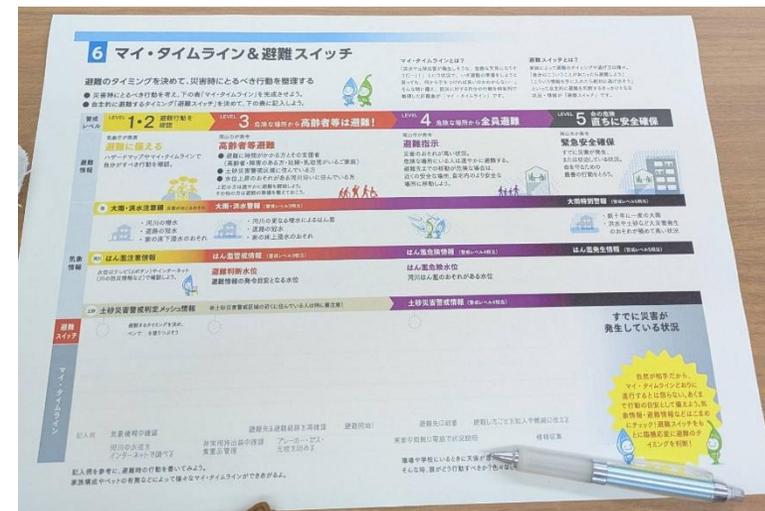
- 水圧ドア & 自動車ドア体験
- 流水歩行体験
- 風雨体験

風水害に特化した
防災施設という
ブランドも良さ!



自分の地域の災害リスクに
関心を持つことができる

- 真備の災害についての話
- 体験前に観る動画 (自分事)
- 「マイタイムライン」



感覚的に危険性を理解できるが
リアリティが不足している？

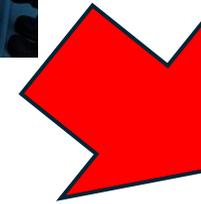
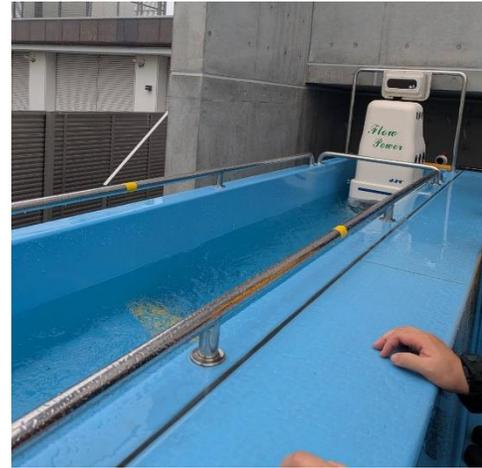
⇒ 体験内容が独立的なため、

・ どのようなときに

・ どのような場所 で

その体験内容のような状況が

存在するのかがイメージしにくいと感じた

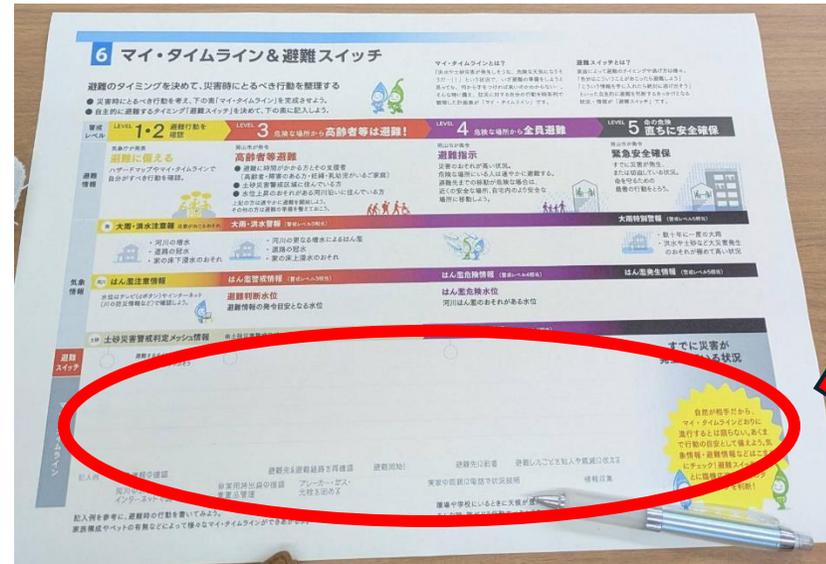


自分の地域の災害リスクに
関心を持てるが
情報が不足している？

- マイタイムラインを書くときに
自分の置かれている状況が
想像しにくい

(いつ、どこにいる設定？
自分の地域の弱さって?)

- 岡山で過去に発生した
風水害について もっと知りたい



自分の地域が被災したとき
どんな状況になるの？

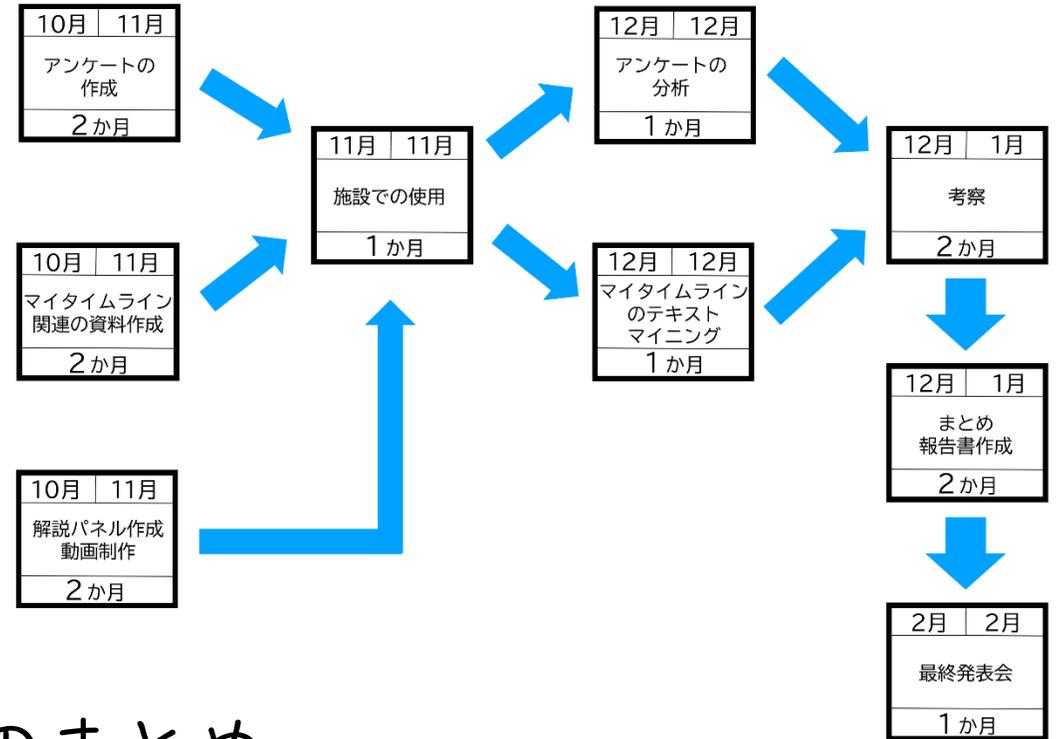
居住地の高齢者数は？
干拓地であることは関係する？
病院の多さは？ 道の安全性は？



- ☑ 体験での学びを深める解説パネルの設置
- ☑ 「自分事」意識を促す動画・体験づくり
- ☑ マイタイムラインづくりの内容改善

10月中 : 活動内容再検討⇒決定
先方との再相談
効果検証の方法を考案

~12月 : 対象施設で
活動・効果検証の実施
(年内には活動を終わらせる)



2026年1月 : 効果検証の考察・活動のまとめ

2026年2月14日 : イノベーションチャレンジ最終発表